

2022年5月21日土曜日、前日まで若干雨の予報もありましたが、近畿修猷会の皆様、そして我々讃猷会の強い願いが届いたのか、お陰様で雨も降らず、最高気温も23℃程度、日差しも強くなく、外でのイベント日和となりました。

我々讃猷会としましては、初めてのイベントであり、加えて2年ぶりの開催でもありましたので、やや緊張気味に集合場所である湊町船着場にて、皆様をお迎えする準備をさせていただきました。

讃猷会のTシャツに久しぶりに袖を通し、そして集合場所の目印となる近畿修猷会ののぼり旗を掲げますと、六光星と近畿修猷会という文字を背中を押され、讃猷会メンバーの背筋もすっと伸びました。

さすが修猷館の館友の皆さん、集合時間の11時には全員集合され、近畿修猷会メンバーが32名、同伴の方が6名、総勢38名の方にご参加いただきました。

今回のイベントは、観光遊覧船を貸切っての水都・大阪のミニクルーズです。

案内人は落語家の笑福亭呂竹（ろちく）さん。

皆さん、遊覧船に乗船後、さっそく呂竹さんの軽妙な案内でクルーズがスタートしました。

船内は、テーブル席となっており、今回は席の指定はしていませんでしたが、卒年度を超えての同窓会らしい雰囲気の中、お弁当と飲み物がテーブル席に配膳され、呂竹さんの参加者を巻き込んだトークで徐々に船内も笑顔と笑い声に包まれていきました。

先輩方が呂竹さんよりも先に問答の答えを言われたりと、生徒が先生より先に答えを言う、という修猷館の授業風景さながらに、落語家も舌を巻く場面も見られました。

大きな両側の窓からは、観光名所を観ることができ、時折川岸から手を振ってくださる家族連れの方などに皆さん手を振り返されるなど、温かな雰囲気でのクルーズとなりました。

時々、船の上の窓も全開にいただき、オープンカーのように颯爽とクルージングし、数か所の橋の下を通る場面では、橋の下をぎりぎり通過する箇所もあり、皆さん興味深く写真を撮られたりされていました。

今回のクルージングは、いつものコースが工事の影響で若干変更となり、その分、長めの約105分の乗船でしたが、皆さん終始笑顔が見られ、楽しいひと時を過ごしていただけたのでは、と思います。

下船後は、呂竹さんも交えて集合写真をパチリ。

コロナ禍の中でのイベントでしたので、例年に比べて短い時間での開催となりましたが、久しぶりの外での開催ということもあり、「楽しかったよ」と言っていただき、私たちも「本当に開催できて良かった！」と笑顔で終えることができました。

参加いただきました皆様、行き届かなかった点もあったかと思いますが、本当に有難うございました。

楽しいひと時を過ごしていただけたのであれば幸いです。

秋イベントでは、春イベントよりも長めの時間で準備を進めておりますので、是非またご参加いただければ、と思います。

笑顔の皆様にもまたお会いできますことを、心より楽しみにしております。

近畿修猷会・讃猷会代表 後藤健介